

## 150周年記念式典

11月11日(土)に授業参観の後、150周年記念式典を開催しました。開催するにあたり、学校では次の準備を進めていました。まず、本校自慢の合唱サークル「スピリッツ」による合唱の披露や全校児童による合唱「ビリーブ」、そして中央小関係者で構成された実行委員会による「バルーンリリース」の動画視聴や記念誌作成など・・・結果、子供たちは大喜びしてくれました。

記念誌やクリアファイルには昔と今の違いや変容、またバルーンリリースの様子を掲載したので、興味をもって見ている子供たちの姿が印象的でした。式典の前日には、

6年生が進んで会場設営をしてくれました。

6年生は設営の完成像を確認した後、一人一人が机・椅子を設置したり並び直したりとスムーズで素早い動きでした。学校としては、こうした姿を

下学年に伝え、受け継ぐ仕組みをつくりたいと思います。



本校ホームページはこちら、QRコードから読み込んでください。



前日での体育館設営の様子。6年生は机・椅子を所定の位置に並び直してくれました。



記念誌とクリアファイルを受け取った子供たちは、興味深そうに写真を見たり友達と話したりしていました。

## 12月人権週間

12月10日は、人権の日(国連人権デー)です。人権を大切にする考え方を広める活動を展開することが目的です。志免町は、子どもの人権について「子どもを取り巻く環境をつくっている大人が、子どもの行動背景を理解することが大事なのではないか」と捉え、「志免町子どもの権利条例」を平成19年に施行されました。子どもの人権が守られた環境をつくっていくためにも、学校・家庭・地域で連携していきたいと考えています。

## 明日12月1日(金)は研究発表会

本校は、3年間かけて「主体的に学ぼうとする子供」の育成をめざして研究を進めてまいりました。この姿をめざしたいと考えた理由は、どのような未来がやっぴこようとも子供一人一人が様々な背景をもつ人々と協働しながら乗り越え、幸せになってほしいという願いがあるからです。この願いを実現するためには、

今起きていることや違和感を覚えたこと等にどのような問題があるのか、問題発見し解決に向けて自ら進んで取り組むこと、また粘り強さ等の力が必要です。そこで、本校の子供たちが苦手とする算数科学習において、予習に取り組むことで問題発見をしたり、一つのテーマやトピックで学びをつくることで粘り強さを発揮しながら解決に向かったりする授業に取り組んでいます。こうした本校の研究の成果と課題を明日、糟屋地区教職員の皆様に子供の姿を通してご覧いただき、次のチャレンジを明らかにしていきます。

